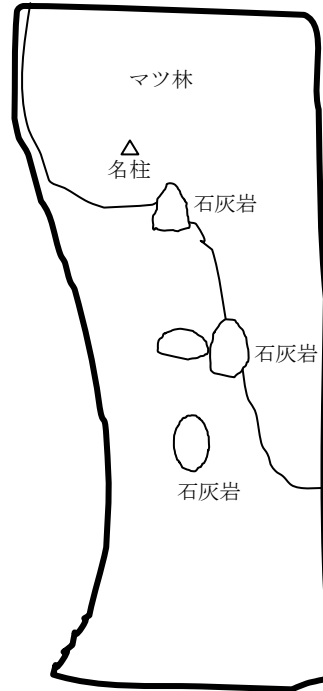


# 山口県の森

山口県の森は、沿岸部のマツ林と、秋吉台の石灰岩を配し、郷土の美しい自然を取り入れ構成されています。

## 県の木 アカマツ(マツ科)

山口県のマツ林は、沿岸部から内陸部まで広く分布し、県土の約 15%を占め、地域色豊かな美しい景観を形成してきました。



## 秋吉台の石灰岩

山口県の中央部に位置する秋吉台は、日本最大のカルスト台地です。(石灰岩でできた土地)

石灰岩は、海底に生物の死骸などが積もってできるもので、大昔はここが海であったことを示しています。

日本最大の鍾乳洞である秋芳洞は、雨水で石灰岩が溶け、一万年もの時を経てできたと言われています。

